

加波山

【山行日】 2015年1月18日

【集合】 自宅

【費用】 1,500円

【メンバー】 CL:高崎 他計2名

【コースタイム】

下野市 8:00＝加波山神社真壁拝殿 8:50 着/9:00＝

加波山不動(寝不動)9:15…舗装道路 9:55…

五合目 9:55…六合目 10:09…

七合目 10:16(山椒魚谷)…八合目 10:28…

林道 10:34…加波山神社(大天狗)10:40…

加波山神社親宮・たばこ神社…

加波山神社 11:00/11:20…加波山神社真壁拝殿 12:50



今日は風が強く、そのためかきりっとした双耳峰の筑波山とそれから左に続く山なみに穏やかな姿の加波山がくっきりと見えた。



駐車場に着くと風はなく、暖かい冬の日だまりハイク日和となった。寝不動で道が3つに分かれるが、一番左の山道を選び、川を渡って登り始めた。笹が背丈以上にびっしり生えており、全く見晴らしがきかなかった。しかし、道は緩やかで落ち葉を踏んで歩く静かな登りが続いた。途中で1カ所視界が開け、近くの筑波山とはるか遠くの富士山が姿を見せた。

道が下りになると直ぐに舗装道路に出た。正面は採石場で削り取られた岩の崖と切り出された石が印象的だった。

道はまもなく山道になり右の沢沿いに登り始めた。小さな沢を横切るなど道の様子は少し変化が出てきたが、相変わらず歩きやすい道だった。それでも計画より30分時間オーバーとなってしまった。

山頂は風が強く加波山神社での休憩は暖かいココアとおにぎりやパンで手早く済ませた。下り始めて間もなく道が右と左に分かれた。どちらも同じように歩かれている道であったが、下山地点から考え右の道をとった。登りと違い下りの道はえぐれた様に両側が高くなっており、2千年前から信仰登山され多くの人が歩いた歴史と関係するのかもしれないと思った。登山道の左に有刺鉄線が張られた場所があり、採石場の多い山を歩いている実感がした。山道が林道に変わりさくら観音で舗装道路に合うとすぐに寝不動の前に着いた。



隣の筑波山と違って加波山はほとんど人と会わず静かな山を楽しむことができた。ただ、予想と違い見晴らしは良くなかった。なお、たくさんある神社について知りたい人は真壁遙拝殿に解説資料があります。

高崎 記